

1. 事業別助成金総括表

(単位：千円)

		平成28年度助成金 (実績)		平成28年度助成金 (計画)
I. プロ・ナトゥーラ・ファンド助成	国内研究助成	20件	18,500	38,000
	国内活動助成	10件	8,236	
	海外助成	5件	4,308	
	出版助成	2件	1,800	
	特定テーマ	17件	15,592	
	小計	54件	48,436	38,000
II. ナショナル・トラスト活動助成		2件	4,570	7,000
III. 緊急助成		6件	8,593	3,000
IV. 提携助成 ㊤		0件	0	10,000
	合計	62件	61,599	58,000

㊤提携助成とは、国際プログラム助成、学協会助成、国際NGO助成のグループ総称です。  
平成28年度に募集し採択された助成案件5件(総額6百万円)は平成29年度予算にて実行。

## 2. 助成金交付一覧

### I. 平成28(2016)年度(第27期)プロ・ナトゥーラ・ファンド助成先一覧

【国内研究助成】

(単位:千円)

No.	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	助成額
1	東北地方日本海側水系に固有の希少淡水魚類の保全	山形県希少野生動物調査会	半澤直人	991	991
2	有明海底生動物群集に対する諫早湾干拓事業の影響に関する研究	有明海保全生態学研究グループ(略称:有明海研究グループ)	東 幹夫	990	989
3	くくり罠による錯誤捕獲がカモシカなどの野生動物に与える影響	浅間山カモシカ研究会	南 正人	1,000	1,000
4	森林生態系における自然撓乱としてのエゾシカ食圧を考慮した植物多様性の保全への提言	知床生物多様性評価プロジェクト	森 章	1,000	950
5	屋久島低地照葉樹林帯における植生保全研究	屋久島照葉樹林ネットワーク	廣田 峻	1,000	1,000
6	北海道のイワナ属は人工の魚止めとニジマスに追いつめられているか	北教大-神戸大水環境チーム	今村彰生	1,000	1,000
7	奄美大島におけるコウモリ類,特に絶滅危惧種コウモリ類の現状と保全に関わる実態調査	鹿児島国際大学生物学研究室(奄美大島コウモリ類調査団)	船越公威	1,000	1,000
8	世界自然遺産候補地奄美群島の森林生態系に関する基礎的研究	鹿児島大学薩南諸島森林生態研究グループ	相場慎一郎	1,000	1,000
9	ツシマヤマネコの分散行動と利用環境解析	ツシマヤマネコ保全生態研究グループ	中西 希	1,000	1,000
10	侵略的外来種の除去が水生動物の生存に及ぼす影響	水田の保全生態学グループ	大庭伸也	1,000	1,000
11	大東諸島におけるピロウ林の維持・再生に向けたピロウの生態に関する研究	ダイトウピロウ研究グループ	傳田哲郎	930	930
12	ダイトウコノハズクの健全な育雛を実現するFRP製巣箱の改良と繁殖のモニタリング	ダイトウコノハズク保全研究グループ	高木昌興	1,000	1,000
13	日本における爬虫類ペット市場の現状	トラフィック	若尾慶子	1,000	1,000
14	未知の絶滅危惧ジンチョウゲ科植物の分類学的検討と保護対策に関する研究	ジンチョウゲ研究グループ	新田紀敏	560	560
15	野生絶滅種コシガヤホシクサの生息域外保全方針の基盤となる交配様式と遺伝的多様性の解明	NPO法人アクアキャン	田中法生	980	980
16	風力発電がナベヅル、マナヅルに与える影響予測の基礎調査	公益財団法人日本野鳥の会	伊藤加奈	1,000	1,000
17	西表島における絶滅危惧トンボ類の保全へ向けた環境DNA解析による生息状況評価	西表島絶滅危惧トンボ類保全対策研究会	奥山 永	970	800
18	知床海域におけるシャチの生息地利用の解明と持続的観光資源としての保全に関する研究	北海道シャチ研究大学連合(Uni-HORP)	三谷曜子	1,000	800
19	北海道における絶滅危惧種カワシンジュガイの個体群の現状把握と稚貝減少要因の解明	北大カワシンジュガイ研究グループ	川尻啓太	870	700
20	風車立地選定のためのオジロワシの渡り飛行経路と生息地の決定要因の解明を目的とした遠隔追跡調査	北海道鳥類保全研究会	白木彩子	1,000	800
国内研究助成 20件			計	19,291	18,500

【国内活動助成】

	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	助成額
1	名護市東海岸の価値を可視化させ保護区にするための生物学的・地理学的などの多角的な調査	公益財団法人 日本自然保護協会	辻村千尋	1,000	1,000
2	京都市深泥池における市民参加型の水質一斉調査	深泥池水生生物研究会	竹門康弘	770	730
3	わが国における希少在来種保全政策（ネコ問題対策）に関するシンポジウム開催	外来ネコ問題研究会 (Invasive Cat Research Japan)	石井信夫	1,000	1,000
4	長野市のため池群に生息する絶滅危惧種シナイモツゴーぼんすけーの保護のための普及活動	ぼんすけ育成会	小西 蘭	997	997
5	伊豆諸島の自然保護シンポジウムの開催	伊豆諸島植生研究グループ	上條隆志	255	255
6	有明海の漁業・環境問題に関する研究誌の発行とシンポジウムの開催	有明海漁民・市民ネットワーク	矢嶋 悟	930	930
7	日本の砂浜生態系を明らかにするための市民参加型調査の実施・人材養成	海の生き物を守る会	向井 宏	968	968
8	上関海域における希少鳥類（カンムリウミスズメ、カラスバト、オオミズナギドリ、アマツバメetc.）保護のための生態調査とシンポジウム開催などの普及活動	上関の自然を守る会	高島美登里	957	837
9	葛西海浜公園「三枚洲」ラムサール条約湿地登録への普及啓発	日本野鳥の会東京	飯田陳也	901	719
10	「とんぼの池」を利用した絶滅のおそれのある野生動植物種の生息域外保全と自然保護のための普及活動	茨城県自然博物館生物多様性保全研究グループ	土屋 勝	1,000	800
国内活動助成 10件			計	8,778	8,236

【海外助成】

	テーマ	申請者名	推薦者	申請額	助成額
1	グアテマラの乾燥林生態系に関する普及啓発を目的としたガイドブックの作成	吉本 治一郎（グアテマラ・デル・バジェ大学）	西田隆義	735	735
2	Conserving Critically Endangered West Africa's Turtles and Tortoises	Tomas Diagne (African Chelonian Institute, セネガル)	大島典子	1,000	1,000
3	Enhancing Recovery of Indigenous Critically Endangered Singidia Tilapia Population	Richard Olwa (National Fisheries Resources Research Institute, ウガンダ)	佐藤靖明	973	973
4	Community Based Human-Snow Leopard Conflict Mitigation in Nepal Himalayas	Gopal Khanal (Centre for Ecological Studies, ネパール)	泉山 茂之	995	800
5	Conservation of Endemic Camellia Species in Lam Dong Province (Vietnam)	Van Dung Luong (Dalat University, ベトナム)	植松千代美	987	800
海外助成 5件			計	4,690	4,308

【出版助成】

	テーマ	出版社	申請者名	申請額	助成額
1	Bhutan Nature Atlas / ブータン王国自然環境地図 (仮)	勉誠出版株式会社	高橋洋	1,000	1,000
2	どこへ行ってしまったの ベトナムのゾウたちー地上から姿を消す前に私たちができること	合同出版株式会社	新村洋子	1,000	800
出版助成 2件			計	2,000	1,800

【特定テーマ助成】 (活動は2年間まで可としており、中間報告の結果で2年目の助成を決定)

	テーマ	申請者名	申請額	助成額 (1年目)	助成額 (2年目)
1	男女群島における海洋生物の多様性に関する基礎調査	男女群島海洋生物調査団 新垣誠司	1,998	1,000	998
2	御蔵島のミクラミヤマクワガタと鳥類は健在か	山階鳥類研究所・御蔵島の希少動物保全研究グループ 岡 奈理子	1,000	1,000	0
3	吐噶喇(トカラ)列島における淡水棲底生動物相調査とその遺伝構造解析-「吐噶喇ギャップ」問題の再考-	信州大学 系統進化・系統地理学研究室 東城幸治	2,000	1,000	1,000
4	大東諸島における海洋島生物多様性保全のためのピロウを中心とする固有生態系の解明	大東諸島生物相研究グループ 伊澤雅子	1,990	1,000	990
5	大隈諸島(含上三島)の昆虫相の解明とその成立史に関する分子生物学的アプローチ	希少昆虫調査研究会 荒谷邦雄	1,990	990	1,000
6	自然移入した喜界島のモズ個体群の消長と基礎的生態の解明	喜界島鳥類研究グループ 濱尾章二	1,000	998	0
7	リュウキュウアカシヨウビンの巣内共生昆虫相の解明	鳥類巣内共生系研究会 那須義次	1,728	1,000	728
8	島嶼性ブナ北限北海道奥尻島における冬季積雪環境が植物の背腹性に与える影響調査	国立研究開発法人森林総合研究所北海道支所森林育成研究グループ 北村系子	1,840	867	973
9	小笠原諸島石門湿性高木林における森林動態と維管束植物多様性基礎調査	石門森林研究グループ 阿部 真	1,910	1,000	910
10	トカラ列島の現生サンゴ礁および完新世隆起サンゴ礁の環境調査	トカラ列島サンゴ礁同好調査グループ 田中健太郎	2,000	970	973
11	伊豆諸島9島における鳥類の繁殖分布調査	特定非営利活動法人パードリサーチ 佐藤 望	2,000	990	995
12	隠岐諸島固有の生物群集が創出する森林構造と生態系サービスの解明	島根大学 森林生態環境学研究グループ 藤巻玲路	1,970	860	860
13	伊豆諸島における大型土壌動物の特性解明と外来種影響に関する調査	伊豆諸島土壌動物研究グループ 岸本 年郎	2,000	800	800
14	琉球列島の小島嶼域におけるトカゲモドキ個体群の健全性評価に関する研究	島の爬虫両生類保全研究チーム 栗田隆気	1,960	988	529
15	対馬下島における残された生物多様性ホットスポットの探索と植物相調査	対馬植物研究会 東 浩司	1,880	704	800
16	噴火の影響を受け続ける口永良部島の自然調査	「人と共に生きる鹿児島島の自然遺産」収集保存事業グループ 川原裕明	993	794	0
17	伊豆諸島の地下生菌はいつ、どこからやってきたのかー共生菌類相に着目した、海洋島の森林保全へのアプローチ	島嶼菌類研究グループ 折原貴道	2,000	631	631
特定テーマ助成17件			計	30,259	15,592

プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 合計 54件	65,018	48,436
------------------------	--------	--------

II. 平成28(2016)年度 ナショナル・トラスト活動助成先一覧

(単位：千円)

No.	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	助成額
1	埼玉県飯能市の土地取得	天覧山・多峯主山の自然を守る会	浅野正敏	2,003	800
2	高知県高岡郡四万十町の土地取得	生態系トラスト協会	中村滝男	6,925	3,770
ナショナル・トラスト活動助成 2件			合計	8,928	4,570

III. 平成28(2016)年度 緊急助成先一覧

(単位：千円)

No.	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	助成額
1	激変する高山植生-シカ食害エリアにおけるマルパダケブキの急増の背景を探る-	南アルプス食害対策協議会	渡邊 修	1,400	1,400
2	北海道の自然環境に関わる諸活動のデータ収集とWeb-GISシステムの構築	北海道市民環境ネットワーク (きたネット)	宮本 尚	2,500	2,500
3	北海道の自然保護活動に関するデータベース化と現況調査	北海道自然保護協会	在田一則	1,500	1,500
4	日本の鳥の現状を明らかにする全国鳥類繁殖分布調査	バードリサーチ	植田睦之	2,000	2,000
5	吉野川河口域保全をめざす市民による、複合的影響評価の手法開発およびフォーラムの開催と報告書の作成	とくしま自然観察の会	井口利枝子	1,000	800
6	島嶼生態系の外来種問題を考えるシンポジウム全国展開	日本自然保護協会・世界自然保護基金ジャパン	安部真理子	1,000	393
緊急助成 6件			合計	9,400	8,593

(単位：千円)

助成件数 合計 62件	総額	61,599
-------------	----	--------